

# 就学援助申請： 本庁でも取り扱いへ 上野議員の質問で市教委回答

就学援助制度の目的は、学校教育法に定める援助を行い、保護者の収入が平等な教育を受ける機会を保障することにあります。



実施内容としては、  
①生活保護世帯の児童に修学旅行費、医療費の全額または一部を対象経費とする要保護  
②市民税が非課

税または所得割非課税、前年度所得が生活保護基準の1・3倍以内の世帯の子供に、学用品費、新入学児童生徒学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、学校給食費、通学費、医療費、公害活動費1/2または全部を対象経費とする要保護があります。この制度を利用している子どもたちは、小学校で約1,300人以上、中学校で約650人ほどです。経済の激甚災害もいわれる大不況の中で、この制度の適用を求める子どもたちが激増することが

予想されます。いままで、4月当初に申請しても、認定作業は前年度の確定申告の結果が出る6月以降になり、ずいぶんと時間がかかっていました。また申請窓口も教育委員会と総合事務所に限られていました。上野議員は、そうした実態を指摘しながら、緊急性を要する事態も考えられるために、年度途中での対応も含めて機敏に行うこと、窓口は市役所本庁（木田事務所）にも置くことなどを求めました。今年度から改善されることになりました。

9日・10日の厚生委員会では、この春の介護保険料の値上げや国保税の値上げを含む予算案などが審議されました。平良木議員は、介護保険料の値上げは特に低所得者に大きな負担になること、「政治災害」たる経済危機の中で職を失った労働者への配慮が必要であることなどを指摘し、値上げに反対

## 介護保険料、低所得者に配慮を 平良木議員が求める

があり本人にとっては重大な問題であることを指摘しました。国保問題では、厚労省からの「資格証」発行への

の配慮を求めた通知の認識とその趣旨にのっとった事業執行を確認するとともに、保険料の減免制度の拡充を求めました。

減少している点を指摘し、他の医療保険者との連携にいつそう努力するよう求めました。



## 日本共産党議員団4議員 一般質問の通告内容

一般質問が18日からはじまりました。日本共産党議員団4人も全員登壇します。各議員の質問の順番と通告内容（概要）は以下の通りです。ぜひ傍聴にお出かけください。

### 樋口良子議員

- (20番目。23日午後遅くか24日午前の予定)
1. 「非正規切り」等の防止について
  2. 雇用悪化の状況の中での生活保護の対応について
  3. 宮野尾牛池地内の最終処分場建設問題について

### 上野公悦議員

- (21番目。23日午後遅くか24日午前の予定)
1. 市内中小企業の支援について
  2. 学校給食の民間委託について

### 平良木哲也議員

- (29番目。24日の予定)
1. 介護保険について
  2. 北陸新幹線開業に向けた諸施策について

### 橋爪法一議員

- (30番目。24日午後の予定)
1. 防災対策について
  2. 長野県信濃町に計画されている廃棄物最終処分場建設について
  3. 地域自治区について
  4. 精神障害者の入院医療費助成制度について

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 174 2009年3月22日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木哲也	525-9096	(上中田)